

## 令和4年度 つづき交流ステーション事業評価表

評価項目	運営委員の自己評価	区役所の評価
(1)区民間の交流を促進しているか	「今日のつづき」等、各コーナーの更新や、誰でも書き込める「掲示板」等を通して区民間の交流を促進している。記事の感想や問い合わせなどはグループ内にフィードバックして、できるだけ早く対応している。取材を重ねることにより、掲載を希望する団体からの依頼も受けるようになってきており、確実につながりが生まれている。	つづき交流ステーションホームページにて、都筑区のイベントや魅力等を発信することにより、都筑区内の様々な活動を区内外問わず、広く知ってもらえる一助になっている。
(2)区民と行政の交流を促進しているか	「つづき人交流フェスタ」、「都筑縁ジンミーティング」への参加や「イベントカレンダー」等で区政と区民の交流を促進している。	「つづき人交流フェスタ」等への参加により、区民と行政のつながりづくりを行っている。また、防犯情報、イベント情報、講座情報等の区民向け広報活動を、積極的に行っている。今後もお互いに情報交換を行い、一層のコミュニケーションを図ってもらいたい。
(3)都筑区の魅力を区の内外へ発信し、都筑区への関心や愛着を高めているか	「都筑歴史散歩」、「都筑の公園」、「つづき”ひと”訪問」、「都筑いまむかし」「こんなところにナニコレ！」など、都筑の魅力を内外に紹介して都筑区への関心や愛着を高めている。「ナニコレ！」展示では多くの人が目を止め、反響があった。改めて都筑の魅力に気付くきっかけを提供できた。	「つづき歴史散歩道」、「つづき”ひと”訪問」、「都筑いまむかし」、「こんなところにナニコレ！」等、都筑区の魅力を区内外に発信しており、都筑区への関心を高め、魅力の再発見につながる情報発信を行っている。今後も様々な情報を収集し、都筑区の魅力を広く発信してもらいたい。
(4)読者の満足度を把握しているか	区民や区民活動センターからの問い合わせの対応や、アクセス解析等から読者の満足度を把握している。	アクセス解析等により、読者の満足度を把握している。引き続き、読者満足度の分析やコンテンツの充実等に取り組み、魅力あるホームページ作りに努めてもらいたい。
(5)予算の執行は適切か	昨年8月以降、バナー広告収入が無くなった。分担金や交通費等、適切に執行されているが、製作者に対し、より還元できるためには、収益を得るための工夫が必要。	バナー広告収入はなくなったものの、予算の範囲内で事業の運営が行えている。引き続き、収入と支出の執行管理については、慎重に進めていただき、財政状況に即した継続的な事業運営を行ってもらいたい。
総合的な評価	新たな取材や各コーナーの更新、区のイベントへの参加等を通して、都筑の魅力を内外に発信するとともに、区民間や行政との交流に寄与している。また、HPの見直し、各コーナーの見直しなどにより時代に合った対応を心がけている。「ナニコレ！」展示やつづき人交流フェスタにより、色々な人につづき交流ステーションを知ってもらうことができた。共同展示とクイズは今後も続けたい。	ホームページによる区のイベントの積極的な情報発信に加え、「ナニコレ！」展示や「つづき人交流フェスタ」への参加を通じて、区民及び行政との交流を図っている。独自の取材や区との連携により、今後も都筑区のイベントや魅力の発信を行い、地域交流の促進を図っていただきたい。

以上